

④現状ではショートステイの確保は難しいが、情報の提供や相談については努力していく。

水道道路の交通安全対策について

水道道路で3件の死亡事故が発生した。①歩道の

②減速マークの設置など車のスピード抑制。③自転車利用者等への反射材の設置の呼びかけ。④道路照明の改善など、安全対策を進めるべき。

①道路管理者である都に整備事業の推進を図る。

②調布警察署や都に要望。③広報などでの啓発活動について研究。④照明の増強については都に相談し、必要な場合要望。

たばこのポイ捨てをなくすために

たばこのポイ捨てをなくしてきれいな街にしてほしいという要望が寄せられている。①市のこれまでの取り組み。②他市の取り組み。③マナーアップキャンペーンの拡充やポイ捨て禁止条例など、市の今後の取り組みはどうか。

①喫煙マナーアップ事業の一環として駅周辺で啓発活動を行った②オール東京の市区町村が共通テーマで、街頭や駅周辺等で啓発物品配布を行った③啓発用ポスター作成や、市民、事業者の状況を見きわめながら、禁止条例等を研究していく。

田岡 恭子

改革の名のもと医療の切り下げを許さない自治体の役割について

①医療サービスの後退を許さない取り組みについて。②病院から地域・家庭へというが、行き場をなくした高齢者の対応は。③後期高齢者医療制度発足に当たり保険料の滞納者に対し資格証明書の発行はやるべきと思うがどうか。

①将来にわたり新制度を安定運営できるように、市民に理解いただけるよう取り組み。②療養病床の再編は、事業主体が東京都で、市民の医療健康等状況を踏まえ意見を述べていく。③実施する場合は、支払い能力等十分見きわめていく。

①市民参加・協働のまちづくりをさらに発展させる取り組みについて

①狛江市として今後どのような取り組みを進めていくのか。②市民の自治意識を高めていくには、公民館活動を通じ、地域課題である「福祉や健康・子育て・まちづくり」など学習活動を行い活発に議論できる場づくりについて。

市民参加・協働のまちづくりをさらに発展させる取り組みについて

①市民及び市民公益団体からの提案制度を創設したい。②体験学習の推進、学校家庭及び地域社会との連携が示されており、市民参加、市民が学び活動できる場の保障、市民の学習権を地域社会で保障する考え方で事業を進めている。

小安 勝

高齢者虐待について

平成18年4月、高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律

が施行され、各自治体でも独自の取り組みが展開され始めている。その現状、防止ネットワーク、広報・啓発、相談窓口について伺う。

昨年市内事業所を対象に調査を行ったが、身体的虐待が最も多かった。ネットワークは地域包括支援センターと協力して形成、パンフレットの作成・講演会により広報・啓発、高齢福祉課を含め4つの相談窓口を設置していきたい。

市長の政治姿勢について

アクションプランで示された狛江市の財政は、見せかけ上は収支均衡を図ることはできているが、財政構造上の問題は依然として解決されてない。借金や各種基金の取り崩しなどで調整した予算、将来市民に高負担として残らないか不安。

平成20年度に公債費のピークがあり、何らかの資金手当の必要がある。21年度には公債費が落ち着き、人件費などの削減効果と相まって財政基盤は確立すると予想している。

①総務省は平成19年度地方財政対策の中に、公的資金の繰り上げ償還による公債費負担の軽減策を盛り込んだ。公的資金の繰り上げ償還制度について、狛江市の取り組みは。

①普通会計では23件が繰り上げ償還、又は借りが対象となるが、一定条件に適合することが必要で、その点は都を通じて調査する②収支均衡型財政を目指すことが最大の課題と考える。それを達成した上で次の前進を図る。

道下 勇

市長が招いた財政破綻からの再建策について

①水道道路で死亡事故が発生した時点で市長はどのような報告を受け、担当部にどのような指示を出したか②市長みずから担当部長とその都度

青少年健全育成事業について

①放課後子どもプランの推進状況は。②多摩26市の取り組み状況は。③江戸川区は全小中学校で取り組まれているが。④東野川児童保育所が55名で5名が定員オーバーだが受け入れは。五小のフリープレイの3期の休みの開設は。

①検討委員会を立ち上げて放課後対策の課題を検討する②全小中学校で実施予定6市、モデル方式4市、検討中13市、未定3市③放課後等の教室、校庭などさまざまな活動ができる事業として位置づけ④特例として全員入所を考えている。

①緑野小への歩道設置等課題は、八幡通り、上和泉通り、御台橋通りの3路線であった。しかし御台橋通りの整備は計画も検討せずになおざりした。その理由は。②八幡通りのどこに「通学路」表示がされたのか。

最悪の財政状況の中での道路整備計画について

①20年度に入るときに確定するものと目途をつけている。②緊急行動計画策定時に、事業の見直しを実施した。見直しでは困っている方にしわ寄せがいかないよう配慮を行った。

市民サービスについて

①市役所から健康課への電話回線について②公明党の妊産婦健診の費用軽減策について、国は無料サービス券5回配布の意向を示したがその取り組みは③カーブミラー設置要望に対する回答の明確化と道路整備に伴う設置計画について。

市内の交通安全について

狛江市でも交通事故の発生件数は多い。①水道道路の安全対策を。②狛江三叉路交差点の信号機設置と安全対策を。③危険箇所は市が関係機関に働きかけ、市民が安全で安心して生活を送れるよう交通安全に対する取り組みを講じるべき。

若者の雇用対策について

本年1月に公明党青年局として東京しごとセンター(シヨブカフェ)の視察をした。ここでは社会問題となっているニート、フリーターの就職支援を積極的に取り組み成果を上げている。①狛江市での取り組みについて。

西村 雅司

狛江市財政再建の見通しについて

①市の財政再建の時期についての明確な見通しはいつか。②財政のよしあしが行政サービスに大きく影響するが、狛江市の市政運営の失敗に起因したサービス格差(低下)について、どのような認識を持っているか。

①20年度に入るときに確定するものと目途をつけている。②緊急行動計画策定時に、事業の見直しを実施した。見直しでは困っている方にしわ寄せがいかないよう配慮を行った。

安全・安心なまちづくりについて

市民は防犯、安全対策への取り組みが最重要だと考えている。①小学生に「防犯ブザー携帯中」のステッカーの配布を要請したがその対応は。②後を絶たない「振り込め詐欺」等の対策として警視庁のチラシを活用してはどうか。

市民サービスについて

①防犯ブザー携帯中というシールを新1年生を中心に配布する準備を進めている。②警察にも在庫がないようなので、どのような形がよいのか整理し、ステッカーなりビラのようなものを検討し対応していきたい。

市内の交通安全について

狛江市でも交通事故の発生件数は多い。①水道道路の安全対策を。②狛江三叉路交差点の信号機設置と安全対策を。③危険箇所は市が関係機関に働きかけ、市民が安全で安心して生活を送れるよう交通安全に対する取り組みを講じるべき。

若者の雇用対策について

本年1月に公明党青年局として東京しごとセンター(シヨブカフェ)の視察をした。ここでは社会問題となっているニート、フリーターの就職支援を積極的に取り組み成果を上げている。①狛江市での取り組みについて。

佐々木 貴史

安全・安心なまちづくりについて

市民は防犯、安全対策への取り組みが最重要だと考えている。①小学生に「防犯ブザー携帯中」のステッカーの配布を要請したがその対応は。②後を絶たない「振り込め詐欺」等の対策として警視庁のチラシを活用してはどうか。

①防犯ブザー携帯中というシールを新1年生を中心に配布する準備を進めている。②警察にも在庫がないようなので、どのような形がよいのか整理し、ステッカーなりビラのようなものを検討し対応していきたい。

市内の交通安全について

狛江市でも交通事故の発生件数は多い。①水道道路の安全対策を。②狛江三叉路交差点の信号機設置と安全対策を。③危険箇所は市が関係機関に働きかけ、市民が安全で安心して生活を送れるよう交通安全に対する取り組みを講じるべき。

若者の雇用対策について

本年1月に公明党青年局として東京しごとセンター(シヨブカフェ)の視察をした。ここでは社会問題となっているニート、フリーターの就職支援を積極的に取り組み成果を上げている。①狛江市での取り組みについて。